

はた孝幸 県政報告

発行所 : はた孝幸事務所
発行者 : 福井県議会議員 畑 孝幸
住所 : 〒9100043 福井市四十谷町 5-18
TEL: 0776-59-1008 / FAX :0776-59-1777
Email : daihata@mx4.fctv.ne.jp



●日本の経済成長は エネルギーの安定供給から

ロシアのウクライナ侵攻により、戦後の世界秩序が狂おうとしています。この戦争は、自国の安全保障やエネルギー安全保障の重要性を明確に示すことになりました。『環境優等生』を自負してきたドイツは、ロシアからの天然ガス供給が削減され、国内で生産する石炭火力を稼働させました。地球温暖化の原因となっているガスには様々なものがあります。なかでも二酸化炭素はもっとも温暖化への影響度が大きいガスです。産業革命以降、化石燃料の使用が増え、その結果、大気中の二酸化炭素の濃度も増加しています。

『原子力か再生可能エネルギーか』という二者択一的議論ではなく、水力・風力・太陽光・原子力という複数の電源を最大限に利用していくことが必要であり、世論調査で原発の再稼働に賛成する人は半数を超え、原発新增設に賛成する人も確実に増えています。

11月7日に開かれた県会の議員研修会で、国際大学の橘川副学長も、原発の新增設・リプレースの必要性について力説していました。

これから冬に向かってエネルギーの使用量が増えてきますが、原子力による発電比率は、震災前の2010年には25%でした。しかし現在3~4%まで減少しています。それを補うために、火力は65%から80%へ増加し、二酸化炭素の排出量が増えているのです。原子力は、安定供給と環境を両立させる重要なベースロード電源であり、日本が世界に誇れる高い技術力を持つ重要な分野です。日本の経済成長を押し上げる意味でも、積極的な行動へ舵を切る時期に来ていると思います。

●足羽川ダム定礎式(令和4年11月19日)

～安全・安心な地域へ・着々と進む排水機場整備や砂防ダム整備～

福井平野には、九頭竜川・日野川・足羽川の3河川が流れていますが、『ダム』がないのは、足羽川だけです。平成16年7月の福井豪雨の被害を受け、平常時は水を貯めない洪水調節専用の流水型ダムとして、平成19年に計画策定され、平成26年より工事に着手しました。高さ約96mの重量式コンクリートダムで、令和8年度末完成(工事着手より完成まで約13年を予定)の予定です。

流水型ダムは、島根県『益田川ダム』、石川県『辰巳ダム』、鹿児島県『西之谷ダム』、長野県『浅川ダム』、山形県『最上小国川ダム』の5基があり、足羽川ダムは、全国最大規模であり、完成が待たれるところです。

現在、国土強靱化や減災・防災の観点から、志津川、七瀬川の河川改修、更には、内水氾濫を防ぐ為の排水機場の更新、砂防ダムの新設等を加速し、持続可能な社会づくりの実現に向け努力いたします。



足羽川ダムの構造と特徴

- 平常時は、水を貯めない洪水調節専用の流水型ダム。
- 高さ約96mの重量式コンクリートダムで、足羽川の支川の部子川に建設中。

洪水調節専用(流水型)ダムのイメージ	
ふだん(平常時)	洪水時
平常時は、川の水をそのまま流します。	洪水時は、一時的にダムに水を貯め、洪水後、安全な量だけ下流に流します。

流水型ダムとは洪水調節専用のダムであり、平常時は水を貯めずに、洪水時に一時的に水を貯める。下流河川の洪水被害を低減するダムのことです。平常時は水を貯めず普通の川の状態が維持されるため、ダム上下流において水質が維持され、土砂も流水とともに下流に流れていきます。

ヒゲはた ウォッチング



●10/28 ブラジル研修生
歓迎・激励の会



●10/01 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 開館



●10/25 県産材 活用現場視察



●11/02 (株)伝食(敦賀市) 視察
ワルム 8 畳のアパートで創業してから
10年で従業員 100人、売上高 100億
円を達成した(株)伝食を視察した。
私の左側が 田辺社長



●9/10 福井港に入港した掃海母艦『ぶんど』に乗船・視察・激励
掃海母艦『ぶんど』は、海上自衛隊所属の艦船で、掃海用航空機や掃海艇の母艦として、燃料や物資の補給などを行うと共に、それらの司令塔としての機能を果たす。11/6には、大規模な多国間共同訓練に参加し、海上医療拠点として洋上医療活動に従事したようです。